

2026 年 4 月 3 日

千 葉 県 知 事
熊谷 俊人 様

生活クラブ生活協同組合
代 表 理 事 福住 洋美

2025 年度 ちばSSKプロジェクト等に関する取り組み報告書

1. 報告

生活クラブ生活協同組合「ちばSSKプロジェクト」に関する取り組みの年間計画について、2025 年度のちばSSKプロジェクトに関する活動状況を報告します。

2. 2025 年度計画のまとめ

生活クラブ生活協同組合は、食材の宅配など日々の業務と組合員と活動を通して、高齢者の見守りをはじめとする「ちばSSKプロジェクト」の取り組みに協力しました。

I 高齢者の見守り

■配達時や店舗での高齢者および地域の見守りを各行政区で「見守り・気づき」の活動を実施しました。新たな組合員の見守り機能として、組合員と離れたご家族へ、配達時の確認メール（在宅の有無、注文の有無）を配信する「見守り安心サポート」を開始しました。見守り安心サポートの登録件数は、72 件（2026 年 3 月末時点）となっています。

■「高齢者見守りネットワーク協定」は現在、佐倉市、千葉市、市原市、木更津市、袖ヶ浦市、八千代市、習志野市、浦安市、市川市、船橋市、松戸市、鎌ヶ谷市、白井市、柏市、我孫子市、計 15 市と締結しています。今後も当組合の事業所のある自治体と「高齢者見守りネットワーク協定」の締結を進めていきます。

II 「ちばSSKプロジェクト」

- ・ ■ちばSSKプロジェクトの取り組みを地域に広報していくために、県内 9 店舗および配達車両に「ちばSSKプロジェクト」のポスター・チラシ類を掲示しました。

III 認知症対策

- 職員は学習会を実施し、認知症に関する知識や対応方法を具体的に学びました。
- 組合員を主体とした、認知症サポーター養成講座を 1 回開催し、地域の見守り活動につなげました。

IV 高齢者の安全、安心

- 組合員・地域の見守り活動を通じて、不審に思われる高齢者の消費者被害に気付いた場合も上長に報告し、自治体の関連機関等に通報する取り組みを行なっています。配達先にて異変に気づき、家族や関係機関に連絡するなどいくつか事例が発生しており、職員間で事例共有をおこないました。
- 地域住民の繋がりを作る居心地の良い居場所「街の縁側」活動に取り組みました。印西市木刈にある「街の縁側」では、徐々に地域の住民が集うようになり、地域の居場所として認知されてきています。

以上